

文章の組み立て

～MindMeister（マインドメイスター）を使って～

この授業では、コンピュータを使用するが、アンプラグドプログラミングによる学習活動に重点を置いている。相手に分かりやすく伝わるよう、伝えたいことや知らせたいことを説明する文章を書き、集めた材料から文章を組み立てるために必要な情報を整理するためのアプリケーションソフトを活用する。

導入

◆ 本時の流れを提示する

- ・発表の見本を示す。
- ・文章を組み立てるための材料を集める。
(授業の前までに集めておく)

展開1

◆ アプリケーションソフト（MindMeister）を活用する

- ・集めてきた材料を活用してマインドマップを作成する。
- ・マインドマップを基に文章を作成する。
- ・作成した文章から課題を見だし、プログラミング的思考を働かせながら、材料の順番を入れ替えたり、材料の共通点を見付けたりする。

展開2

◆ アプリを活用して発表する

- ・マインドマップを見せるなどしながら発表する。
- ・児童は、話す順序を考えて入れ替えて話すなど、試行錯誤しながら課題解決に向けて取り組む。

まとめ

- ◆ 相手に分かりやすく伝わるように、文章の構成を考える

授業の様子・留意点

- ・1人1台端末を活用してブラウザアプリを使用する。



- ・材料を入れ替えたりまとめたりすることで、文章の構成を考える。
- ・必要に応じて、文字や画像、URLなどを入力する。

- ・作成したマインドマップを発表に活用する。
- * 伝える内容を順序立てたり、入れ替えたり、まとめることができるので、発表のための原稿を作る場面にも活用することができる。